

都道府県トレセンを活用した3級審判インストラクター認定・更新講習会② 報告書

1. 日 時 令和6年7月7日（日） 9時～16時
2. 場 所 F Kホールディングス 生涯学習センター「きらん」小会議室
3. 参加者 講師：村山 尚哉（HKFA 審判委員会指導者部、1級審判インストラクター）
受講者：5名 *オブザーバー 4名
4. 研修内容 **主な研修内容は以下のとおり。**

講義① ・開講式、ガイダンス、コンプライアンス	講義② ・審判員とは、審判員の目標と重点項目
講義③ ・資質、心構え、指導サイクル	講義④ ・グループディスカッション（室蘭地区の現状）
講義⑤ ・競技規則①②、競技規則の精神	講義⑥ ・事象分析の進め方
講義⑦ ・事象分析例 講義⑧ ・試合分析	※振り返り、閉講式、解散



本講習会2回目は室蘭地区（東室蘭市）にて5名の受講者（更新5）、オブザーバー4名、計9名の参加により開催しました。道協会副会長でもある大岩氏、JFAEC山崎氏、室蘭地区審判委員長鈴木氏にもご参加いただき、良い意味で緊張感ある講習会となりました。参加者の方々も室蘭地区で長期にわたり地区のため、審判員のために日々活動、貢献されている方で、ひとつひとつの講義に熱心に取り組む姿勢に刺激を受けました。講義④では室蘭地区の現状把握ということで、室蘭地区の審判員を数値化し共有、ディスカッションでは、・審判指導者の活動状況、・うまくいっている点、・課題点、・課題点への対策方法、・審判指導者として資質向上するために必要なことなどをお話していただきました。まとまった内容を軸に、今後の室蘭地区の発展に向けて行動を起こしていただければと願っています。講義⑥⑦では前回同様、実際の試合での事象をどのように分析し、的確な判定に結びつけるかを共有しました。講義⑧では実際の試合を視聴していただき、審判員の良い点、課題点、課題点に対するアドバイスをまとめていただき共有しました。なかなかの講義内容で開催しましたが、参加者の皆さんは最後まで真剣な眼差しで、積極的に参加していただき素晴らしい講習会になりました。準備等で協力いただいた地区の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。

～以下、参加者様からのコメントです～

▪ 鈴木宏 氏

この度はありがとうございました。

大変参考になりました。私自身この IS 制度が設立される前より指導に携わっているような気がします、何せ性格上褒めて育てる方法が苦手なものです。しかし今日の講習に参加しわかりました。褒めるというより、相手の気持ち考えを知ることが先決だということ。それこそが JFA の信念の一つである【RESPECT】今後この信念をもって指導・自分の向上に当たりたいと思います。

本当にありがとうございました。



▪ 及川浩明 氏

講師の熱意のある講義に吸い込まれ大変勉強になりました。

長時間にわたり大変お疲れ様でした。

また機会がありましたら参加させていただきたいと思えます。

ありがとうございました。

▪ 川人隆博 氏

本日の 3 級インストラクター更新時講習会へ参加させていただきありがとうございました。

インストラクターの基礎から仮想実践を踏まえ、頭では分かっているものの、実際、理論的に言葉にするところを村山氏からお教えいただき、また、山崎氏の日本協会からの見解を含めた貴重なお話をいただき、地区では経験の出来ないことが多く、大変貴重な経験となりました。

講習の中で地区での課題、問題点も皆さんで共有する機会も頂き、やはり昔と今では違うところを実感しながら、私たちの課せられた役割をお教えいただき、また、私たちが何をすべきか、何が出来るかを話できるところが大きかったです。私たちの役割について、後進を育てること、そして、地区のサッカーを審判から盛り上げることが大事であることを考え今後、機会があれば是非お役に立てればと思います。

指導実践では考慮する事項について今一度、学習しなければならないと感じ、わかりやすく、正確に受講者へ伝えることを努めていきたいと思えます。

今後、審判員の活動の機会もですが、我々インストラクターの活動の機会についてもご検討頂き、大岩氏も最後お話頂きましたが、「責任」の中で審判員への関わりを少しでも頂ければと思います。本日の村山氏のお話の中で今後、更新のシステムの変更もあるとのことですが、それとは別に地区インストラクターで顔を合わせて取り組む方法や審判員の育成についての場を持っていただく等の取組を含めご検討いただけますと幸いです。

鈴木委員長、三平さんには、ご苦勞おかけいたします。ご協力する機会も多くないところ恐縮ですが、今後ともよろしく願います。